

第9回瀬戸内4県都市長会議を開催しました



第9回瀬戸内4県都市長会議



令和5年10月2日（月）に、松山市内にある「観恒亭（二之丸史跡庭園内）」において、「第9回瀬戸内4県都市長会議」を開催しました。

まず、令和5年度事業報告として、松山市から「海外メディアを通じた瀬戸内エリアの情報発信」について報告がありました。一つ目は、今年5月に開催されたG7広島サミットに合わせた情報発信です。世界中から注目された広島サミットでは、多数の海外メディア関係者などが広島に集まったため、その海外メディアをターゲットに情報発信を行いました。具体的には、英字新聞「the japan times」の特別特集号に4市の自然や文化、体験、食などの観光資源の魅力を掲載して発信しました。

「the japan times」は約200万部発行され、国際メディアセンターや宿泊ホテル等、各所に配布されました。二つ目は、海外メディアを瀬戸内エリアに招き、4市を周遊するモデルツアーを実施するものです。モデルツアーでの体験記事を海外webサイトやSNSで配信してもらうことで瀬戸内エリアの魅力を海外に発信し、外国人観光客の受入につなげていきます。モデルツアーは、より瀬戸内の魅力を体感できる行楽シーズンの11月に実施します。対象とする海外メディアはVOYAPON（ヴォヤポン）で、主に欧米やオーストラリアをターゲットにプロモーションを行います。

次に、岡山市から来年度事業の提案がありました。再来年の2025年は大阪・関西万博が開催される予定で、世界中からメディアや観光客が多く集まることが予想されます。外国人観光客を、関西エリアから瀬戸内エリアに誘客する絶好の機会であることから、万博開催の前年となる来年度は、万博に合わせて訪日される外国人観光客を想定した情報発信が重要で、瀬戸内エリアに行くための交通手段なども併せて示すことが必要であるため、JRを活用した外国人観光客誘客及び周遊促進をテーマとして、ファムツアーの実施による情報発信やリーフレットの作成を実施することについて意見集約されました。

続いて、「大阪・関西万博に向けたインバウンドの誘客」について意見交換を行いました。岡山市からは、城やアートなど、各市の共通項をいかしたプロモーションについて、高松市からは、瀬戸内国際芸術祭や屋島など、様々な地域資源を活用したプロモーションについて、広島市からは、各市の文化・芸術・スポーツ等、様々なイベントを束ねたプロモーションについて、松山市からは、鉄道、船舶会社と連携した取組や、道後温泉本館など観光素材を多言語化したウェブサイトやSNS等でのプロモーションについて、意見交換を行いました。